

**憲法・教育基本法を生かし
すべての子どもに
ゆきとどいた教育を**

**国による30人学級実現、
私学助成の大幅増額を**

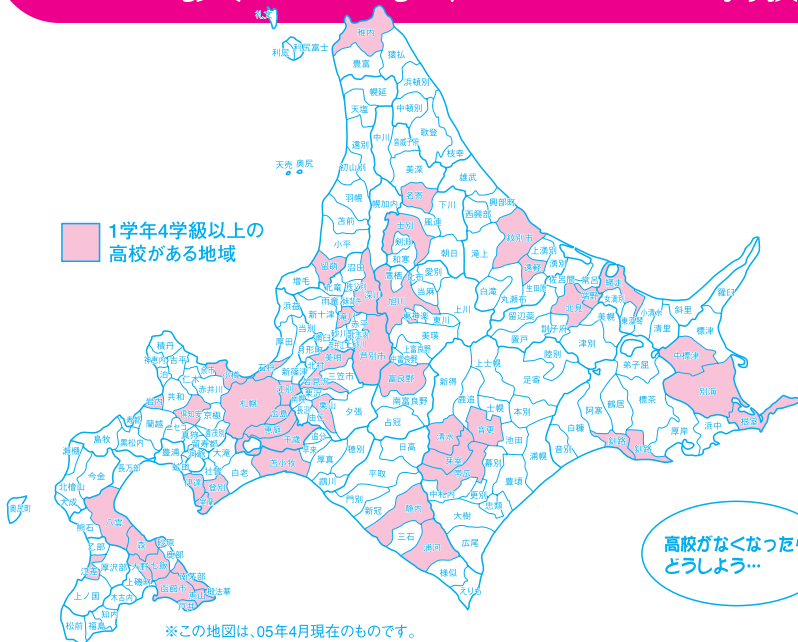
**どこにいても
ひとしく教育を受けられる
「教育の機会均等」
の保障を**

**高校統廃合・
「多様化」再編反対!
地域の高校を
守ろう**

**道内すべての小中高で
30人学級の
実現を**

ゆきとどいた教育をすすめる全国3000万署名にご協力ください

110校が「不適正」？ 学ぶ権利をうばう道教委の 高校「再編整備」計画



道教委は今、07年度からの新たな「高校教育に関する指針」をつくらうとしています。

その内容は、「40人学級」のままで、「1学年4～8学級が適正規模」とし、大幅な高校統廃合と、学校間格差を広げる「特色づくり」による高校「多様化」再編です。

私たちは、子どもの学ぶ権利をうばう高校統廃合・「多様化」再編に反対し、道教委の新たな「指針」に「少人数学級の導入」などを明記することを要求しています。



「競争しなくても世界一」のフィンランド

「OECD生徒の学習到達度調査(PISA2003)」で、フィンランドはすべての項目でトップグループに位置し、世界の注目を集めました。

「フィンランドでは5キロ以内の通学区に学校を設立することが法律で規定されているので、小学校も中学校も小規模です。小学校は全校生徒の数が60人程度ですから、多くは複式学級です。中学校は高校と併設され、全校生徒の数は100名から200名程度ですが、…(中略)…どちらも小規模の学校で多様な能力の子どもが協同で集約的な学びを展開しているところに成功の秘訣があると言われています。」
〔佐藤学「習熟度別指導の何が問題か」(岩波ブックレット)〕

少人数学級は効果的!

【文部科学省調査 05年4月】

- ①学力が向上した
小**99%** 中**94%**
- ②不登校・いじめが減少した
小**89%** 中**77%**
- ③教師の指導力向上・教材研究の深化
小**92%** 中**85%**
- ④学級人数を引き下げた方が効果的
小**82%** 中**86%**



17年間で
全国3億5000万筆、全道1600万筆に!

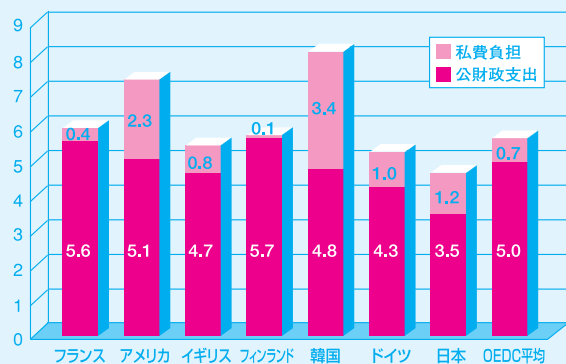
3000万署名運動の成果

- 学級定員を45人から40人へ
- 私学助成の増額
- 養護教諭の複数配置基準の改善
- 障害児学校高等部の拡充
- 道立高校「特例2問口制度」導入
- 義務教育教科書無償の維持
- 無利子奨学金枠の拡充
- 学校事務・栄養職員給与の国庫負担継続

少人数学級実施は東京を除く46道府県に!
北海道の35人学級は小1→小2→中1まで拡大!

国の教育予算を、せめて世界の平均並みに引き上げましょう

教育機関に対する支出の対GDP費(2001年)



日本のGDPに占める教育予算の割合(3.5%)を、世界の平均並み(5.0%)に引き上げるだけで、全国すべての小中高校の30人学級と、大学までの学費の無償化が可能になります。

ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

札幌市中央区大通西12丁目 TEL 011-231-0816 FAX 011-241-8510 URL <http://www.dokokyoso.jp/3000man/>